

2019年 上半期
火災・救急統計

松山市消防局

目 次

第1	火災の概況	1
1	火災件数	1
2	火災による損害	1
3	死傷者数	1
4	出火原因別の火災発生状況	2
5	損害額	3
6	近年の火災状況	3
7	地区別の件数と出火率	4
8	地区別件数の推移	5
9	住宅用火災警報器の奏功事例	6
第2	救急の概況	7
1	救急出場件数・搬送人員の状況	7
2	医療機関別搬送状況	8
3	事故種別・傷病程度別搬送人員の状況	8
4	応急処置実施状況	9
5	地区別救急発生状況	10

火

災

第1 火災の概況

松山市での2019年上半期（1月～6月）の火災概況は、火災件数72件、損害額6,416万2千円、死者5人、負傷者10人となっています。

1 火災件数

2019年上半期（1月～6月）の出火件数は72件で、前年同期（61件）と比べて11件増加しています。

（▲は減少）

		2019年	2018年	前年同期比
総火災件数		72	61	11
種別	建物火災 (住宅火災)	47 (30)	49 (21)	▲2 (9)
	車両火災	2	4	▲2
	林野火災	1	1	0
	船舶火災	0	0	0
	航空機火災	0	0	0
	その他の火災	22	7	15

※その他の火災とは、田畑や河川敷の枯草、屋外に放置された物件等が燃えた火災をいいます。

2 火災による損害

2019年上半期（1月～6月）の火災による損害の状況は次表のとおりです。

（▲は減少）

		2019年	2018年	前年同期比
焼損棟数	合計	73	75	▲2
	全焼	11	9	2
	半焼	3	6	▲3
	部分焼	17	25	▲8
	ぼや	42	35	7
り災世帯数		51	39	12
建物焼損床面積 (㎡)		1,946	1,095	851
建物焼損表面積 (㎡)		310	329	▲19
林野焼損面積 (a)		1	24	▲23
損害額 (千円)		64,162	64,753	▲591

3 死傷者数

2019年上半期（1月～6月）の火災による死者は5人で、前年同期（5人）と比べて増減はありません。また、火災による負傷者は10人で、前年同期（14人）と比べて4人減少しています。

（▲は減少）

		2019年	2018年	前年同期比
死者		5	5	0
負傷者		10	14	▲4

4 出火原因別の火災発生状況

2019年上半期(1月～6月)の火災72件を出火原因別にみますと、「たき火」と「放火」が11件(15.3%)、「こんろ」、「たばこ」が9件(12.5%)、「ストーブ」が4件(5.6%)の順となっています。

また、「放火火災」は12件で全体の16.7%を占めています。

※「放火火災」とは、出火原因が「放火」及び「放火の疑い」の火災のことをいいます。

(▲は減少)

	2019年	2018年	前年同期比
たき火	11	5	6
放火	11	5	6
こんろ	9	10	▲1
たばこ	9	5	4
ストーブ	4	2	2
配線器具	3	1	2
溶接機・切断機	2	2	0
電灯・電話等の配線	2	0	2
放火の疑い	1	8	▲7
火あそび	1	1	0
取灰	1	1	0
火入れ	1	0	1
電気機器	0	1	▲1
風呂かまど	0	1	▲1
その他	10	9	1
不明・調査中	7	10	▲3
合計	72	61	11

5 損害額

2019年上半期（1月～6月）の火災による損害額は6,416万2千円で、前年同期（6,475万3千円）と比べて59万1千円減少しています。

（▲は減少）

	2019年 (千円)	2018年 (千円)	前年同期比 (千円)
損害額	64,162	64,753	▲ 591
建物	63,472	62,813	659
車両	93	1,246	▲ 1,153
船舶	0	0	0
林野	0	0	0
航空機	0	0	0
その他	597	694	▲ 97
爆発	0	0	0

6 近年の火災状況

近年の上半期（1月～6月）の火災状況は次表のとおりです。

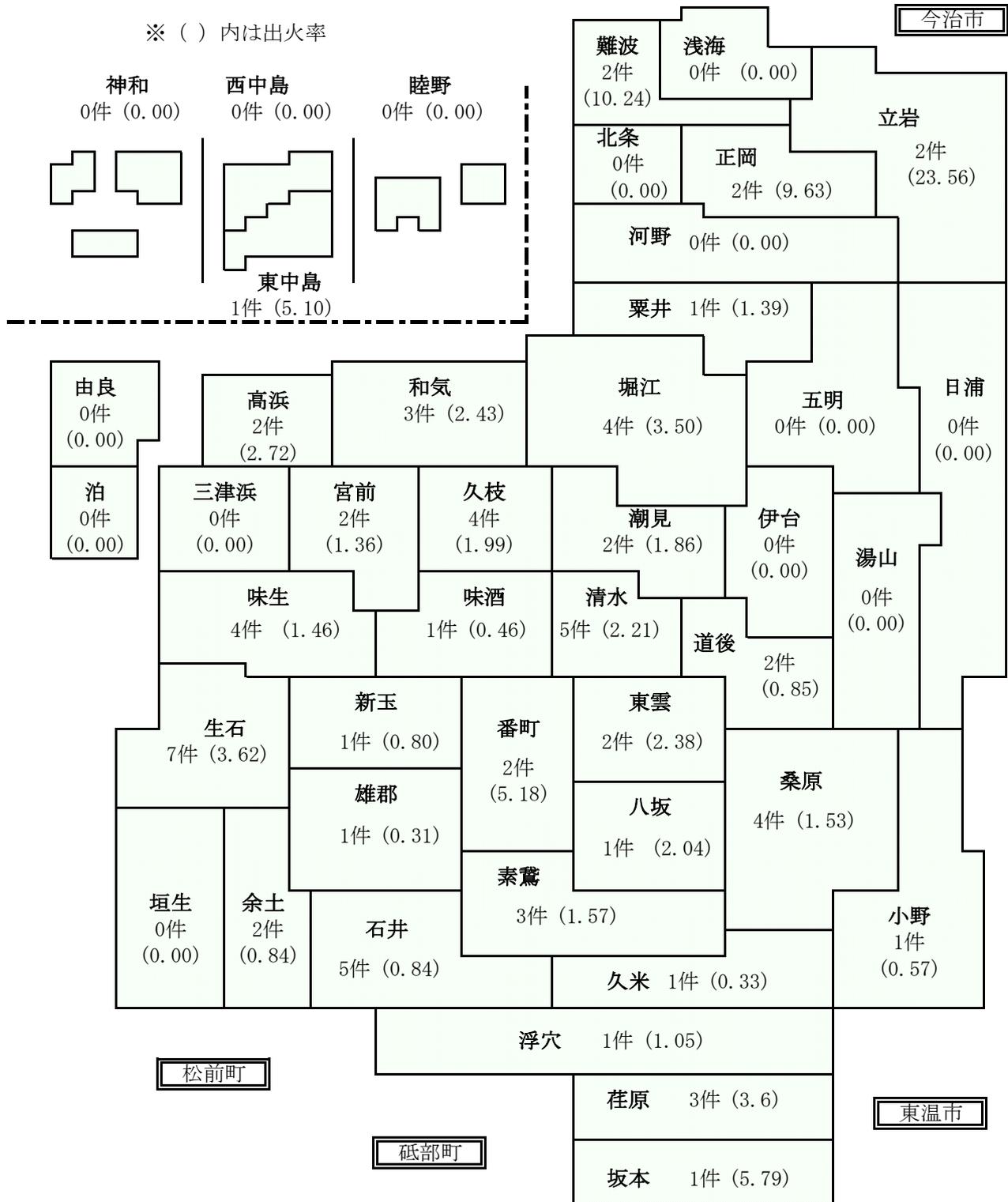
	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	平均
火災件数 (件)	72	61	82	62	66	68.6
焼損棟数 (棟)	73	75	63	74	76	72.2
死者 (人)	5	5	4	5	3	4.4
負傷者 (人)	10	14	19	12	10	13.0
り災世帯数 (世帯)	51	39	49	50	50	47.8
り災人員 (人)	119	84	80	110	115	101.6
損害額 (千円)	64,162	64,753	36,511	68,724	111,652	69,160

7 地区別の件数と出火率

火災件数を地区別にみると、生石が7件で最も多く、次いで清水・石井が5件、桑原・味生・久枝・堀江が4件となっています。

出火率を地区別にみると（松山市平均1.40）、立岩が23.56で最も高く、次いで難波が10.24、正岡が9.63、坂本が5.79、番町が5.18となっています。（2019年上半期）

※出火率とは、人口1万人当たりの火災件数をいいます。



8 地区別件数の推移

(各年上半期)

	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年
番町	2	3	2	2	4
東雲	2	1	2	0	1
八坂	1	1	3	0	0
素鷲	3	1	6	0	2
雄郡	1	2	6	5	5
新玉	1	3	3	0	4
味酒	1	2	3	2	1
清水	5	4	7	5	5
桑原	4	0	1	3	0
道後	2	5	6	4	5
味生	4	2	1	2	3
生石	7	3	3	4	3
垣生	0	1	3	1	1
宮前	2	2	0	1	0
三津浜	0	0	0	0	0
高浜	2	4	0	1	2
久枝	4	2	1	3	0
潮見	2	1	1	3	1
和気	3	2	3	1	4
堀江	4	1	3	1	1
余土	2	1	1	3	0
由良	0	0	0	0	0
泊	0	1	1	0	0
久米	1	1	1	2	0
湯山	0	0	2	0	1
日浦	0	0	0	0	2
伊台	0	1	0	0	1
五明	0	0	0	0	1
小野	1	4	2	1	3
浮穴	1	1	3	2	1
石井	5	6	2	7	2
荏原	3	1	6	1	1
坂本	1	1	1	1	1
浅海	0	0	2	1	2
立岩	2	0	1	1	0
難波	2	1	1	1	0
正岡	2	0	1	1	0
北条	0	0	1	1	4
河野	0	0	0	1	3
粟井	1	3	2	0	1
睦野	0	0	0	0	0
東中島	1	0	0	1	1
西中島	0	0	0	0	0
神和	0	0	1	0	0
合計	72	61	82	62	66

※松山市基準地区（44地区）

9 住宅用火災警報器の奏功事例（2019年上半期）

【事例1】就寝中の居住者が火災を発見し、避難した事例

共同住宅の一室で就寝中の居住者が、警報音で目を覚ますと部屋中に白煙が充満していたもの。初期消火には失敗したが避難し、一命をとりとめることができた。

【事例2】居住者が発見し、初期消火につながった事例

在宅中に、隣室からの警報音に気が付いたもの。リビングに置いてあるゴミ箱周辺が燃えているのを発見したため、風呂場の汲み置きの水で初期消火を実施し、消火に成功した。

【事例3】近隣住民が早期発見し、通報した事例

共同住宅の住民が、隣室の警報音に気付き建物所有者に知らせたもの。知らせを受けた建物所有者が、警報音のする室内を確認し、火災と認識したため消防と管理会社へ通報した。管理会社から連絡を受けた居住者が帰宅し、台所の水道で水を汲み消火に成功した。

住宅用火災警報器は、火災を早期に発見することで、「初期消火」「避難」「119番通報」をいち早く実施することができ、被害の軽減に役立ちます。

日頃から、火気の取り扱いには十分注意し、火災予防を心がけましょう。

住宅用火災警報器の設置場所などの詳しい情報は、松山市ホームページの「住宅用火災警報器」をご参照ください。

救 急

第2 救急の概況

松山市における2019年上半期（1～6月）の救急出動件数は12,979件、搬送人員は12,033人で、前年と比較し出動件数・搬送人員ともに増加しています。

これは、一日平均71.7件、約20分05秒に1回の割合で救急車が出動し、市民約42人に1人の割合で搬送されたこととなります。

1 救急出動件数・搬送人員の状況

事故種別では、急病・一般負傷・転院搬送・交通事故の順となっており、この4種別だけで、出動件数・搬送人員とも全体の約96～98%を占めています。

（▲は減少）

区分	単位	2019年	構成比(%)	2018年	構成比(%)	増減
出動件数	件	12,979	100.0	12,881	100.0	98
内訳	火災	51	0.4	50	0.4	1
	自然	0	0.0	1	0.0	▲1
	水難	10	0.1	3	0.0	7
	交通	1,105	8.5	1,178	9.1	▲73
	労災	78	0.6	84	0.7	▲6
	運動	65	0.5	89	0.7	▲24
	一般	1,738	13.4	1,738	13.5	0
	加害	47	0.4	56	0.4	▲9
	自損	122	0.9	112	0.9	10
	急病	8,129	62.6	7,996	62.1	133
	転院	1,474	11.4	1,429	11.1	45
	その他	160	1.2	145	1.1	15
搬送件数	件	11,960	-	11,889	-	71
搬送人員	人	12,033	100.0	11,970	100.0	63
内訳	火災	9	0.1	10	0.1	▲1
	自然	0	0.0	1	0.0	▲1
	水難	5	0.0	3	0.0	2
	交通	1,077	9.0	1,141	9.5	▲64
	労災	77	0.6	82	0.7	▲5
	運動	70	0.6	89	0.7	▲19
	一般	1,664	13.8	1,630	13.6	34
	加害	37	0.3	48	0.4	▲11
	自損	96	0.8	74	0.6	22
	急病	7,540	62.7	7,466	62.4	74
	転院	1,458	12.1	1,419	11.9	39
	その他	0	0.0	7	0.1	▲7
出動平均(1日)	件	71.7		71.2		
出動間隔		20分05秒		20分14秒		

（注1）出動平均については、前年比1日あたり0.5件増加しています。

（注2）出動間隔については、前年比9秒短くなっています。

（注3）構成比は、合計しても100%にならない場合があります。

2 医療機関別搬送状況

医療機関への搬送状況は、救急医療機関10,917人(90.7%)、その他の医療機関1,116人(9.3%)、その他の場所0人となっており、救急医療機関へ搬送する割合が多いです。

事故種別等 告示の別等	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
救急医療機関	6,910	1,020	1,603	1,384	10,917
その他の医療機関	630	57	61	368	1,116
その他の場所	0	0	0	0	0
合計	7,540	1,077	1,664	1,752	12,033

(注1) 構成比は、合計しても100%にならない場合があります。

(注2) 救急医療機関とは、厚生省令により救急告示を受けている医療機関。

3 事故種別・傷病程度別搬送人員の状況

傷病程度別では、死亡173人(1.4%)、重症650人(5.4%)、中等症4,289人(35.6%)、軽症6,919人(57.5%)、その他2人(0.02%)となっており、軽症の占める割合が多いです。

	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他	合計
死亡	1	0	1	5	1	0	5	0	10	143	7	173
重症	1	0	0	32	10	1	64	0	17	332	193	650
中等症	4	0	1	124	26	12	480	3	20	2,395	1,224	4,289
軽症	3	0	3	916	40	57	1,115	34	49	4,668	34	6,919
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
合計	9	0	5	1,077	77	70	1,664	37	96	7,540	1,458	12,033

(注1) 構成比は、合計しても100%にならない場合があります。

(傷病程度)

死亡 初診時において、死亡が確認されたもの

重症 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの

中等症 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの

軽症 傷病の程度が入院を必要としないもの

その他 搬送したが医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

4 応急処置実施状況

救急救命士が行える救命処置（ラリングアルマスク等による気道確保、気管挿管、除細動、静脈路確保、薬剤投与、血糖測定、エピペン投与、ブドウ糖投与）の件数は277件（前年246件）となっています。

事故種別		急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置	応急処置対象人員	7,531	1,072	1,642	1,728	11,973
	止血	31	37	101	22	191
	固定	32	212	180	53	477
	人工呼吸	28	1	3	2	34
	心マッサージ	2	1	0	0	3
Ⅱ	うち自動	1	0	0	0	1
	心肺蘇生	234	4	12	34	284
Ⅱ	うち自動	30	1	1	7	39
	酸素吸入	1,229	29	49	536	1,843
	気道確保	329	6	19	49	403
Ⅱ	うち経鼻エアウェイ	7	0	0	1	8
Ⅱ	うち喉頭鏡・鉗子等	6	0	3	0	9
救	うちラリングアルマスク等	95	1	4	6	106
救	うち気管挿管	7	0	3	3	13
	保温	352	29	51	90	522
	被覆	39	317	431	67	854
Ⅱ	在宅療法継続	34	0	2	3	39
Ⅱ	ショックパンツ	0	0	0	0	0
Ⅱ	除細動	14	1	0	2	17
	静脈路確保	69	4	7	10	90
救	うち心肺停止前	9	2	0	1	12
	うち心肺停止後	60	2	7	9	78
救	薬剤投与	4	0	0	1	5
Ⅱ	血圧測定	7,022	1,050	1,544	1,633	11,249
Ⅱ	聴診器	1,266	60	97	199	1,622
Ⅱ	血中酸素飽和度の測定	7,286	1,064	1,602	1,684	11,636
Ⅱ	心電図	1,949	27	55	306	2,337
救	血糖測定	34	1	1	1	37
救	エピペン投与	0	0	0	0	0
救	ブドウ糖投与	9	0	0	0	9
	その他	6,713	668	1,226	1,365	9,972
合計		26,676	3,511	5,380	6,057	41,624
拡大された応急処置等		17,833	2,209	3,319	3,856	27,217
（うち救命処置）		232	7	15	23	277

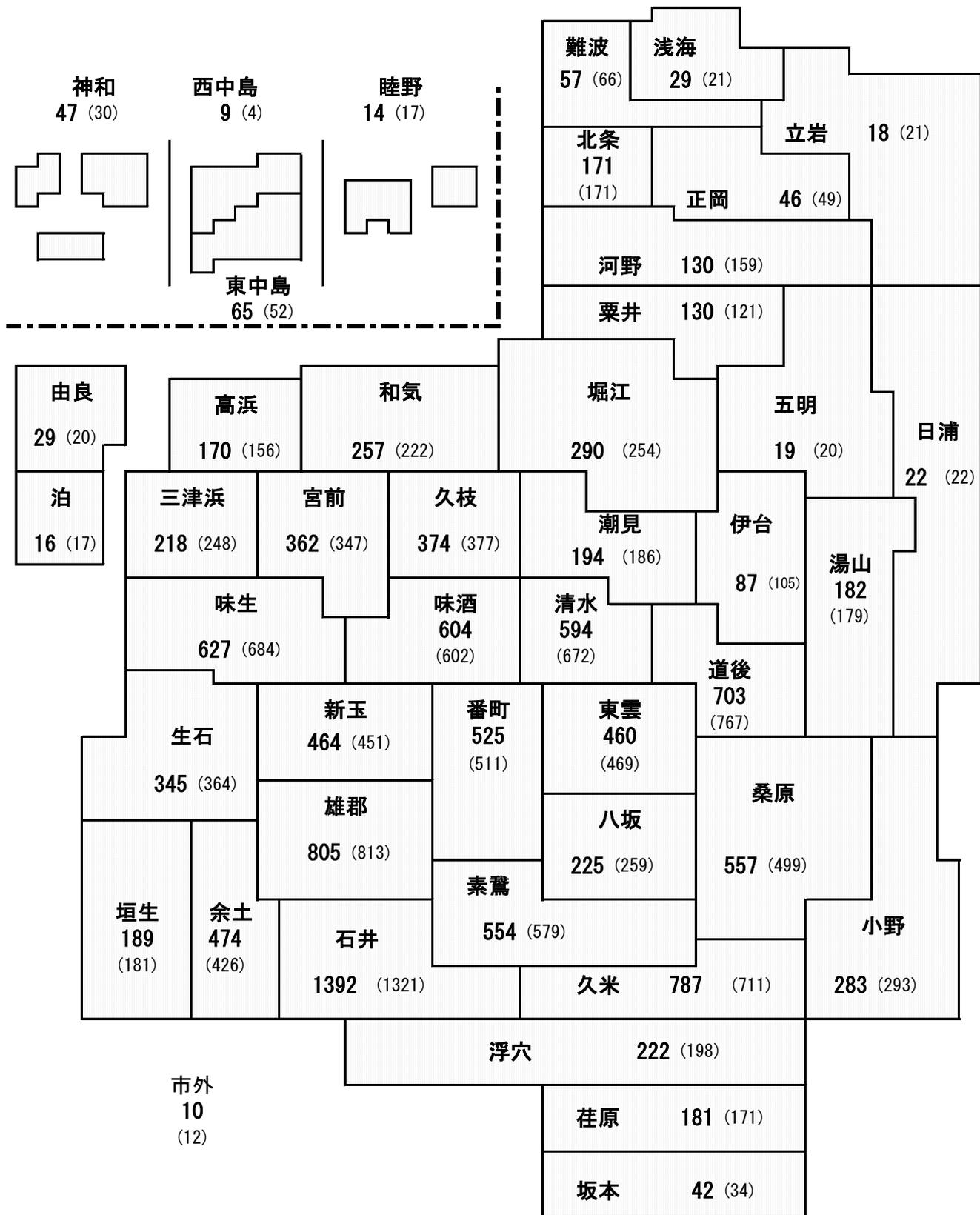
(注1)「Ⅱ」とは、救急Ⅱ課程修了者、標準課程修了者、救急科修了者が実施可能な処置

(注2)「救」とは、救急救命士が医師の指示により実施可能な救命処置

5 地区別救急発生状況

出動件数 12,979件 (前年 12,881件)

() 内は前年同期の発生状況



2019年 上半期 火災・救急統計

火災統計に関するお問合せは

松山市消防局予防課

TEL: (089)926-9247 FAX: (089)926-9163

E-mail: sbyobou@city.matsuyama.ehime.jp

救急統計に関するお問合せは

松山市消防局警防課

TEL: (089)926-9227 FAX: (089)926-9188

E-mail: sbkeibou@city.matsuyama.ehime.jp